

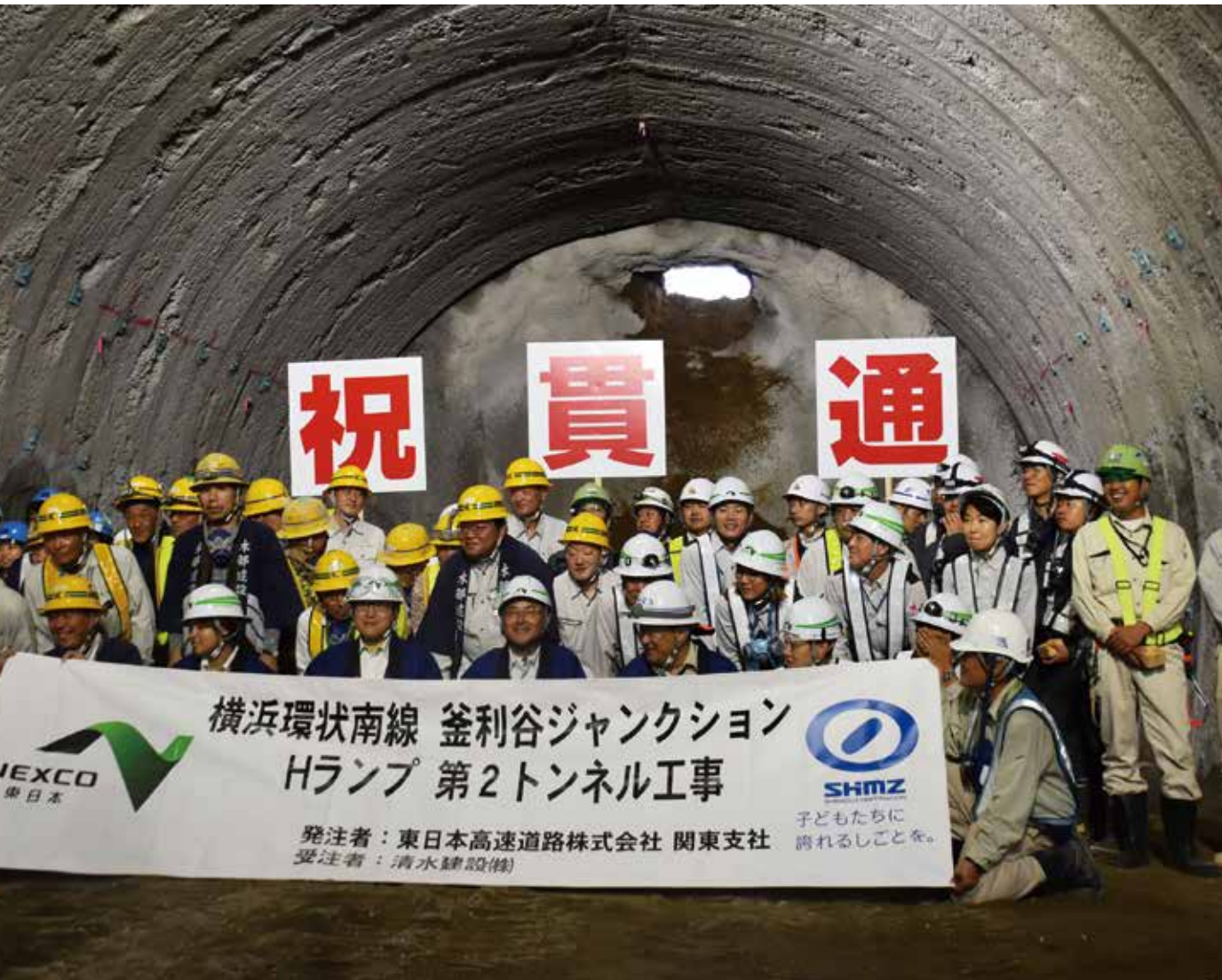
2023 9/12

No.2194

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



東日本高速道路が釜利谷ジャンクション（横浜市金沢区）で建設中の、高速横浜環状南線と横浜横須賀道路を接続するトンネル（135m）が8月1日、貫通した。高速横浜環状南線は2025年度以降に開通する。



## contents

視点描	3
子に胸張れる仕事を	
特集	4
私はなぜ原発を止めたのか なぜ日本はやめられないのか	
政治双眼鏡	8
内閣改造、官房長官に上川氏か 自民党役員人事、「萩生田幹事長」説も	
よんななエコノミー	9
オーバーツーリズム問題 「住民の満足」が解決の鍵	
くらし2023	10
サイバー攻撃 医療機関にダメージ BCP同様の備えを	
神奈川景気データファイル	12
かながわTODAY	14

### 事務局だより

#### ◇2023年10月の講演会

10月12日(木)午後1時半～3時

ロイヤルホールヨコハマ（横浜市中区山下町）

講師：駐横浜大韓民国総領事  
金 玉彩（キム・オク  
チェ）氏

演題：韓日新時代に向けて真  
の歴史和解—武寧王誕  
生の生涯から

※年末のシンポジウム「2024  
年の動向を読む」は12月15日  
(金)午前11時からの予定です。  
※11月29日に福田紀彦川崎  
市長の講演を桜木町駅前の県  
民共済プラザビルで検討して  
います（午後1時半～）。

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045（226）2121。

# 視点 点描



## 子に胸張れる仕事を

はいかなる処分もしない」はずではなかったか。「一定の理解」とは誰の、どんな理解を指すのか。一片の理解もできない。

結論ありきで面会した首相は「全責任を持って約束する」という口約束で、本当に漁業者の理解を得られると思っていたのだろうか。恐らく、本人も思っていないか。

一方、廃炉の先行きが不透明なまま原発の再稼働を進める電力業界では、新電力の顧客情報の不正閲覧や事業者向け電力販売でのカルテルなど不祥事が相次ぐ。

燃費や排出ガスの不正試験、品質検査のデータ偽装、株価維持を目的とした相場操縦、輸入水産物の産地偽装、複雑な仕組み債の不適切販売、おとり広告……。ここ数年、少し振り返っただけで、これだけの不祥事が思い浮かぶ。

今もまた、目標達成のため「部

下の生殺与奪権を与える」と経営計画書に掲げた企業と、そんな企業との深いつながりを指摘される大企業が世間を騒がせている。

不正で得た利益を、そうした行為をする姿を、自分の子や子ども世代に胸を張って語れるか。見せられるか。子に誇れるような仕事をすると心に刻んでいれば、不祥事など起きないはずだ。

なぜ漁業者にだけ、苦難が押し付けられなければならないのか。真面目にコツコツ働く人が報われる社会であってほしい。首相にはせめて、具体的な対策を提示した上で、言葉を尽くして丁寧に説明するぐらいはしてほしい。

10月1日付で経済部長を退任します。後任には、岡本晶子・経済デスクが昇格します。引き続き、よろしく願います。

(神奈川新聞社経済部長・

吉田 勝行)

夏休み、帰省した母親の実家の庭で夜、見上げた満天の星空を今でも鮮明に覚えている。

タガメやドジョウを捕ろうと田んぼの用水路で遊んだり、畑で野菜の収穫を手伝ったり。トウモロコシが大好物なのは、取れたて、ゆでたてを味わった遠い日の記憶がきっかけだと思っている。

今となっては何が釣れたのかも

定かではないが、仕掛けを沈めた阿武隈川のゆったりとした流れと、夕焼けの景色はきれいだった。

あの事故の後も、実家から送られてくる米や野菜を食べ続けている。後期高齢者の両親は今も、元気に理容師として働いている。

原発処理水の海洋放出が始まり、漁業者が風評被害の懸念に直面している。「関係者の理解なしに